

プロジェクト名	ドイツ人留学生のための大学案内（情報紙形式）
タイプとレベル	「ライティングと文法」 A2
期間	準備期間として毎回の授業の後半 30 分を 4 回
対象者	週 2 回 1 年間ドイツ語を学習する大学 1 年生（後期の後半に実施）
計画案 <small>（課題、目的、学習対象、 利用可能なツール、技術的 な前提、進行プラン例）</small>	<p><b>課題</b> : 2~3 人のグループで、漫画コマ割り作成用のアプリ等を利用し、1 ヶ月後を目処に、広大で学ぶドイツ人留学生のための A4 にして 2~4 ページほどのカラーの広大案内（情報紙形式）を作り、配布・公開する。</p> <p><b>目的</b> : 1) 日本語で自ら調べて知った新たな知識を、適切な画像とともに、簡潔なドイツ語にまとめ、標題を付ける（A2 レベルの writing）、2) 読み手がドイツ人留学生であることに配慮し、どんな情報が必要かについてあらためて意識しつつ情報伝達の方法を考える。3) 自分達が学ぶ大学の制度やサービスを外からの視点で見直す。</p> <p><b>利用可能なツール</b> :</p> <p>学生：大学のサイト、ドイツ語圏の同種のサイト、Glosbe・Reverso Dictionary・Wadoku などのオンライン辞書各種、漫画コマ割り作成用のアプリ Strip Designer、Word、QR コード無料作成ページなど。</p> <p><b>技術的な前提</b> 特にないが、プロジェクト説明用の PowerPoint プレゼンテーションのできる環境は、あれば望ましい。</p> <p><b>プロジェクト進行プラン</b></p> <p>① 準備：通常の授業を通して Studentenleben・Wohnung・Verkehr/ Reise 等のテーマを扱い、関連する動詞を学習しておく。大学の学生便覧や（留）学生用の案内資料等があれば、教員も自ら集めるとともに、参加者にもあらかじめ、集めるよう指示を出す。</p> <p>② 第 1 回：2~3 人のグループを作る。留学生が必要とする情報や関心を持つ情報（学年歴に関する一般情報、学部学科コースごとの授業や単位取得に関する情報相談、留学生向きの授業や英語で提供される授業の情報、本人や家族向けの大学内外の日本語講座、日本文化講座、無料で使える大学施設：ジム・プール・テニスコート等、アルバイト情報、ゴミの出し方などの生活情報、地域のイベント情報、観光情報、西条で外国人に人気の飲食店：例 cafe bar THE EARTH・タンダー等、大学内の穴場スポット：例 総合科学部棟南側のお花見スポット・ぶどう池周辺の散策コース、大学周辺の映画館の上映情報等）を具体的に想定し、身近な留学生にも実際のニーズを聞いて、どの分野に重点を置くか、あるいは各分野</p>

	<p>からバランス良く情報を選んで配置するかを考える。</p> <p>② 第2回：コンセプト段階でチームごとにそのコンセプトの中間発表を行い、他チームからのフィードバックをもらう。</p> <p>③ 第2回～第3回：自分達の選んだ全体コンセプトに沿って、留学生が必要とする情報や関心を持つ情報について具体的に調べる。イベント情報などその情報に期限があるものは、その期限に注意する。トピックごとに数行の文章と短い標題を考え、手書き画像あるいは写真を使った漫画作成用のアプリ <b>Strip Designer</b> を使って、コマ割りしていく。</p> <p>④ 第4回：印刷版を完成するとともに PDF 化する。また、掲載する個々の情報の URL とこのガイド自体の URL に簡単にアクセスできるよう、WWW 上の QR コード無料作成ページを使って、すべての記事の末尾と作成中のガイドの冒頭にアクセス用 QR コードを貼り付けるとともに、末尾に feedback 用の URL やメールアドレスの QR コードを付ける。(なお、feedback の手段として、このプロジェクト専用の Facebook 等を作っても良いが、プライベートな領域とプロジェクトという公的な領域が重なることについては、個人が特定されるというセキュリティ上の問題だけでなく、公私の領域の区別に関わる心理的な問題もあるので、参加者全員の合意が無い限りは、慎重を要する。教員が自らの責任で作ったすべてのグループ共通の feedback 用ドレスを挙げるなどに留めておく方が無難である。) また、紹介したサービス等に関する大学自身の既存の情報提供ページ等がある場合にはそれにもリンクを貼る。</p> <p>⑤ 一定の水準に達している物は、実際に大学の国際交流ラウンジ等においてもらうとともに、すべてのグループの PDF ファイルをまとめたちらしを作り、学内に掲示する。</p> <p>⑥ 参加者全員に投票の形で、一番良いと思われる作品を選んでもらう。本プロジェクトに参加した学生には、評価アンケートも書いてもらう。</p>
ポイント	<p>1) 内容面では、留学生にとって本当に役立つと思われる情報についてきちんと調べて書くことを強調する。<u>読み手の存在を意識化させることが重要。</u></p> <p>2) 最初に、前年度の作品をモデルとして提示することができればいい。</p>